

令和6年度 東京・千葉地区2国立大学法人 公共工事入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	令和6年8月28日(水) 東京工業大学 千葉大学 TeamsによるWeb会議により開催		
委員	委員長 清水 幹裕(弁護士) 委員 竹内 啓博(公認会計士・税理士) 委員 蟹澤 宏剛(芝浦工業大学教授)		
審議対象期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日までに契約締結した案件		
	東京工業大学	千葉大学	(備考)
抽出案件(合計)	3件	3件	<p>前回開催した入札監視委員会以降、指名停止の措置及び再苦情の申立ては無し。</p> <p>抽出案件の個別審査に当たっては、委員長を含む全委員が対象案件の審議を行った。</p>
建設工事(小計)	2件	2件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	1件	0件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	1件	1件	
工事希望型競争入札	0件	0件	
通常指名競争入札	0件	0件	
随意契約	0件	1件	
設計・コンサルティング業務(小計)	1件	1件	
公募型プロポーザル方式	0件	0件	
簡易公募型プロポーザル方式	0件	0件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	0件	0件	
標準型プロポーザル方式	0件	0件	
一般競争入札	1件	0件	
随意契約	0件	1件	
公募型企画競争	0件	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし		

別紙

質 問	回 答
1. 東京工業大学及び千葉大学において発注した建設工事及び設計・コンサルティング業務について ・質問なし。	
2. 東京工業大学及び千葉大学における指名停止等の措置状況について ・質問なし。	
3. 再苦情処理会議への申立状況について ・質問なし。	

質 問	回 答
4. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議について	
①千葉大学(柏の葉)バイオ・健康オープンイノベーション拠点(仮称)施設整備事業	
<p>・採用した入札方式の検討方法について教えて欲しい。 また工期が厳しいとのことだが、今後、早期発注のために改善できる点はあるのか。</p>	<p>・本件については、令和4年度の補正予算で、令和5年度の年度初めに事業決定が来たため、他の契約の参考にならない点が多い。 その状況で、設計・施工一括方式の採用を含め、規定の範囲内で可能な限り早く対応できる手段を採用した。 また令和5年度内に竣工しなければならないという等、工期的に大変厳しい案件であると言える。</p>
<p>・不調後、20社程と調整を進めたとの話であるが、調整が難航したのは工期の面が問題であったのか。</p>	<p>・工期の厳しさを主として、技術者の不足、またそれに関連するサブコンの確保ができないということも辞退理由として挙げられた。 1社1社個別に確認をとったのではなく、まとめて複数社に並行して確認をとっていたが、上記の内容により、前向きに検討する旨回答してくれた業者は4・5社程であった。</p>
<p>・工期については4週8休を採用しているか。また基本設計については大学で実施したのか。</p>	<p>・4週8休については採用している。 設計については基本設計・実施設計を併せて設計全体を大和ハウス工業株式会社に委託した。大学内にも設計の方針について検討するキャンパス整備企画室という組織があるため、そちらと協力しながら設計をまとめた。</p>
②千葉大学(西千葉)基幹整備(特高受変電設備)工事	
<p>・実際に札入れをしたのは2者であり、受注者は低入札基準価格を下回ったが、もう1者の入札額は予定価格を超過したと考える。どの程度予定価格と乖離していたのかを教えて欲しい。</p>	<p>・入札については3者の応募があったが、1者の辞退により2者の応札となった。 入札結果として2者とも予定価格内にて入札されており、受注者のみが最低基準価格を下回ったことから低入札価格調査対象となった。</p>
<p>・辞退した業者は技術者が不足したため辞退したのか。</p>	<p>・そのように推測している。本件は開札の段階で契約成立が分かったため、特に辞退業者への理由の確認は行わなかった。</p>
<p>・低入札調査対象となった理由に、業者からは大学内で同種工事を行っていることから、価格を抑えることができる旨の回答があったが、今後も価格を抑えるために同種の工事についてまとめて発注していくとの判断はなされるのか。</p>	<p>・大学が実施する事業はそれぞれが個々の予算として要求している。また工事をまとめることは工事規模を拡大させ、中小企業の参加を妨げることもありうるため、価格を抑えるためとはいえ、まとめて発注することが適切との判断は難しいと思われる。</p>

質 問	回 答
<p>③東京工業大学(大岡山)附属科学技術高等学校校舎新営その他工事</p>	
<p>・第1回目の入札において、4者のうち1者のみが予定価格の範囲内の入札価格とのことだが、他社との入札価格の差額を教えてください。</p> <p>・高落札率は必ずしも悪いことではないが、その要因はどのように考えているか？</p>	<p>・総合順位2位の応札者の入札価格は総合順位1位(落札者)と比較して2億円超高くなっており、総合順位4位の応札者の入札価格は総合順位2位の応札者と比較して4億円超高くなっている。また、総合順位3位の応札者の入札価格は総合順位4位の応札者と比較して3億円超高くなっている。</p> <p>・資材価格等の高騰のほか、本件は複数の建物及び構築物の新築工事のみならず、支障建物の解体工事も含む複合的な工事となっていることが要因と考えている。</p>
<p>④東京工業大学(大岡山)石川台9号館等改修機械設備工事</p>	
<p>・1者の入札が無効になっているが、経緯を教えてください。</p> <p>・低入札価格調査の状況を教えてください。</p>	<p>・無効の1者は電子入札システム上において、錯誤により入札価格の金額を1桁間違えて(1桁少なく)入札書の提出を行った。第1回目の入札書と、併せて提出した工事費内訳書の金額が大幅に乖離するため、入札説明書に従い、当該競争参加者に説明の上、当該入札を無効とした。</p> <p>・提出された入札事情説明書を踏まえ、検討した結果、以下の事実が確認でき、契約内容に適合した履行がなされるものと認められたため、契約に至った。 (a) 工事内容、各細目、数量、単価、金額等について、違算はないと認められること。 (b) 資材調達について、長年の信頼関係のある取引先から価格の協力を得られており、安価に仕入れることが可能であること。 (c) 人員配置について、多数の施工実績があることから現場状況を熟知しており、より効率的な人員配置ができるため、諸経費、労務費の削減が可能であること。 (d) 各種諸経費について、会社が工事場所から近距離であること、また自社倉庫が付近にあることから、圧縮が可能であること。</p>
<p>⑤千葉大学(医病)臨床新棟新営実施設計業務</p>	
<p>・基本設計で決まった業者に、実施設計についても随意契約で契約締結するという話だったが、業者としては基本設計分の完了後に実施設計については断るということもできるのか。</p>	<p>・できるが基本設計の段階で、実施設計の中身についてもかなり踏み込んで調整を進めていることもあり、断られた例は聞いたことがない。</p>
<p>⑥東京工業大学(すずかけ台)グラウンド周辺測量調査業務</p>	
<p>・質問なし。</p>	

委員講評 (東京・千葉地区2国立大学法人全体について)

- ・全体的な総括として、東京・千葉地区2国立大学法人共に問題なし。
- ・会議の最初に話があったように、近年、働き方改革等により不落・不調が増えているところかと思われる。今後も少子化や建築基準法・省エネ法の改正によりますます環境が厳しくなっていくなか、不落・不調が増えないような検討を行っていただきたい。
- ・費用の高騰もあり発注者側としては厳しい状況が続いていると思われるが、今回の測量業務のように技術革新による価格低下等、低入札価格調査対象の案件も見受けられるため、調整し適正な調達が進められるよう、工夫して行っていただきたい。
- ・今後とも適切な契約業務を執り行うこと。